

【参考】成果品案の材料としたWS③宿題

●朝日村 庁舎木造化／木質化についての期待と課題

大項目	小項目	庁舎木造化／木質化について	
		メリット	課題
建築	○外観や地域景観への馴染み 見栄え、風格、デザイン 朝日村らしさ		・村のシンボルとなるようなデザインの検討が課題 ・木材を外装として利用するとアピール度は増すが維持管理に経費がかかる。
	○内観や室内空間の特性 見栄え、雰囲気、質感 インテリアデザイン	・内装にふんだんに木材を利用することにより、朝日村をアピールすることができる。	・内装の木材が多いと疲れる、閉塞感があるといった声もあり、木材使用率の検討が必要。
	○居住性能やその他の性能 健康性、遮音性、省エネ性、廃棄物の抑制	・木造施設は入った瞬間木の香りに包まれ森林浴に来ているような清々しい気持ちになる。 ・木材利用は、健康面へのよい影響も考えられるが実際はどうか知識不足で回答ができない。	・音響面など設計段階で考慮する必要がある。 ・耐震・免震機能の取入れが必要。 ・省エネ性の検討が必要。なぜなら、大空間や吹き抜けにすると、暖められた熱が逃げてしまう。朝日村の寒い冬を乗り切る対策が必要。
設計	○計画・設計の特性、難易度 プランニング、大空間の計画 断面計画等		・木造建築物の設計を数多くこなしている業者の選択が必要。
	○法基準等への適合性 基準法、消防法、その他への適合性、難易度		・法基準に対しては、設計士の助言をいただきながらクリアしていく。的確な情報を持った設計事務所の選択が必要。
	○構造設計の特性 構造形式ごとの計算手法、難易度等		・木造建築の場合、採用する構造により構造計算ができる業者が限られているとも聞く。設計のプロポーザル段階において業者選択の仕様が大切となる。

大項目	小項目	庁舎木造化／木質化について	
		メリット	課題
材料調達 施工	○工法、施工の難易度 大断面木質構造、在来工法、 ラーメン構造、混構造、		・庁舎の大きさ、空間の大きさにより、工法が変わってくる。今後規模等が固まる中で検討が必要となってくる。 ・また庁舎に入る施設によっては、RC 造の混構造の検討も必要。
	○材料の調達や職人の手配 地域木材（構造材、造作材） 地場産材の活用	・近年建設した施設で朝日村材を活用した公共施設はなく <u>村内外へのアピール度が高い。</u>	・材料調達は、内装材及び集成材として活用する部分についてはある程度確保の目途がついた。今後、 <u>工事請負業者に施主支給材を使用するよう、仕様の検討が必要</u> となる。
	○地域生産体制との関係 職人（大工、建具、左官、塗装…）の連携		・本体工事は技術力、資金力がある大手業者が受注する可能性が高いため、 <u>受注業者に対し村内企業に下請工事を行なわせることを条件にするなど村内業者の参入機会をつくる必要がある。</u>
維持管理	○維持管理の手間やコスト 定期点検、メンテナンス契約 外壁補修、塗装等		・木造・木質化した際、 <u>の維持管理コストの推計が必要。</u>
	○耐久性や耐用性、建物寿命 耐用年数、増改築等への対応性、設備等の更新性等		・計画段階で外壁などある程度メンテナンスコストが抑えられるものを選択しておくことも必要か。
事業性	○事業費コスト（イニシャル） 工事費の多寡（建築、設備） 補助金の適用等 ○事業費コスト（ランニング） 地震保険料、火災保険料、 保守点検費用等		・RC 造と比較し、割高になるケースがあると思われる。 <u>無垢材を多く利用するなどコストを下げる工夫が必要。</u> ・木の香る環境づくり総合推進事業（木造公共施設整備事業）の活用の検討。 ・木材利用に伴う補助金 ・新・自然エネルギー活用に 伴う補助金